

## 雑草防止工法〈防草ブロック〉

NETIS登録  
KT-160069-VE



舗装の間から雑草が生えるのを防止する目的で開発された「防草機能を有する技術」

「雑草防止工法・防草ブロック」は、歩車道境界ブロック等のコンクリート製品と舗装の隙間を発生させず、雑草を自然に枯らして成長を強力に防止する「防草機能を有する技術」です。

### ●特長

#### 1. 維持コストの削減

維持管理に要する「草刈り費用が削減」されます。

#### 2. 道路環境の改善

雑草を無くすことで景観が良くなります。また歩行者、自転車走行に対する道路環境も改善されます。

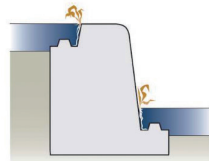
#### 3. 施工性

ブロックの「施工性は従来と同じ」です。特に舗装材の新設施工や撤去工事等も従来と同じ要領で行えます。製品単価も施工費も従来施工と全く同様です。

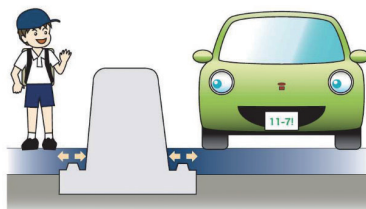
#### 4. 舗装に対する効果

舗装部が突起としっかり噛み合うため、舗装がひび割れたり、ずれたりしない効果があります。

コンクリートとアスファルトのすき間の上部から、草の種子や土砂が入って成長しかけても、さらにコンクリートがあるので枯れてしまいます。



コンクリートブロックの突起とアスファルトがかみ合うため、収縮や振動による隙間が発生しないので雑草が生えにくくなります。



## 防草効果のポイント



コンクリートの突起があるため雑草の根が成長できず枯れてしまいます。

防草効果は20年近く持続することが長い追跡調査の結果から確認されています。

ここがポイントです！

ここがポイントです！



アスファルトの冬の収縮や夏の膨張に対して隙間がほとんど発生しない構造となっています。

雑草の成長を助長する隙間環境を防止しています。

隙間ができません！

隙間ができません！








アスファルトの下から雑草が伸びようとした場合、凸状突起部で、芽と根の成長を自然に止めて枯らします。

根がのびない！

芽が育たない！

雑草防止工法対応製品一覧

ベース無歩車道境界ブロック		
	縁石タイプ	標準、水抜
	防草タイプ	片面防草
	規 格	A種、B種、C種
ベース付歩車道境界ブロック		
	縁石タイプ	標準、乗入、切下(斜)、水抜
	防草タイプ	両面防草
	規 格	B種、C種
L型街渠		
	縁石タイプ	標準、乗入、横断歩道2%・6%、水抜
	防草タイプ	片面防草、両面防草
	規 格	A種、B種、C種
落蓋式U型側溝		
	防草タイプ	片面防草、両面防草
	規 格	1種300A、1種300B、3種300A、3種300B
円形水路		
	自転車道整備対応 中央分離帯対応	
	規 格	φ 300、φ 400、φ 500